

<一般会計>

4 環境まちづくり部

1 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。	
ごみの収集・運搬	126
2 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。	
千代田エコシステムの推進	126
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進	127
地球温暖化対策の推進	127
公園・児童遊園の整備	128
資源回収事業	128
ごみ削減区民アイデアコンテスト	129
3 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。	
ウォーカブルなまちづくりの検討	129
地区の計画等の検討	130
市街地再開発事業の推進	130
麹町地域まちづくりの推進	131
神田地域まちづくりの推進	131
住宅施設管理	132
居住安定支援家賃助成	132
次世代育成住宅助成	133
永田町駅地下鉄連絡出入口整備（基本設計）	133
区民ニーズに応じたすまいの供給	134
（仮称）四番町公共施設住宅の開設	134
電線類地中化の推進	135
歩道のバリアフリー化	135
自転車通行環境整備	135
道路交流空間の整備	136
主な整備予定箇所	138
4 地域特性を踏まえた強靭な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができています。	
建物の耐震化等促進事業	136
橋梁の整備	137

ごみの収集・運搬**436,760千円** (420,637 千円)**拡充** ▶千代田清掃事務所

区では、近年、ねずみに関する相談件数が増加しており、生活環境の悪化が懸念されていることから、令和5年度から生息調査や重点対策等を実施してきました。

令和8年度は、ごみの適正な排出を促すため、蓋付きごみ容器を飲食店等に無償で提供し、地域や保健所等と連携しながら、ねずみやカラス等の被害抑止を含めた衛生環境の改善を図ります。

R9 見込額：437 百万円 R10 見込額：437 百万円

千代田エコシステムの推進**24,672千円** (15,415 千円)**拡充** ▶環境政策課

千代田エコシステム推進協議会は、区が独自に構築した環境マネジメントシステムである「千代田エコシステム（C E S）」の普及や推進を担う組織であり、C E S認証制度の運用や環境配慮行動宣言制度の普及促進事業などに取り組んでいます。また、区内の二酸化炭素排出量の4分の3以上が事業所ビル等から排出されていることを踏まえ、区内中小企業の脱炭素経営支援を行っています。

令和8年度は、推進協議会が脱炭素化のビジネスメリット創出等を目的に、区内中小企業を対象とした「ちよエコ未来企業スクール」を実施することに伴い、事業者の実践的な取組みを促進するための運営補助等を行います。

R9 見込額：25 百万円 R10 見込額：25 百万円

予算額(前年度予算額)

ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進

24,437千円 (24,683 千円)

拡充 ▶環境政策課

近年、都心部ではヒートアイランド現象による気温上昇が深刻化し、夏季の高温による熱中症リスクや気象災害の発生頻度の増加が懸念されています。このため、区では屋上緑化等の緑化の推進に取り組むとともに、クールスポットの創出や打ち水等への支援・普及啓発を行っています。

令和8年度は、日陰が少なく通行量の多い歩道空間に日よけを設置し、区民の熱中症予防や快適な歩行環境を確保することで暑熱環境の改善を図ります。

R9 見込額：48百万円 R10 見込額：48百万円

地球温暖化対策の推進

45,231千円 (54,014 千円)

拡充 ▶環境政策課

区は、2050年までに区内の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「2050ゼロカーボンちよだ」の実現を掲げるとともに、2030（令和12）年度までに区内の二酸化炭素排出量を2013（平成25）年度比で42.3%削減する対策目標を設定し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

令和8年度は、東京都に選定された「ゼロエミッション地区創出プロジェクト」の取組みとして、再開発事業予定エリアを含む神田錦町南部地区を先駆的なゼロエミッション地区として位置づけ、再生可能エネルギー電力への切り替えや省エネ設備等の導入に対する支援のほか、Ai rソーラー（ペロブスカイト太陽電池）設置の活用可能性調査を行い、面的な脱炭素化を推進します。

R9 見込額：99百万円 R10 見込額：62百万円

予算額(前年度予算額)

公園・児童遊園の整備

拡充

▶道路公園課

655,641千円 (156,874 千円)

区は、令和6年度に改定した「千代田区公園づくり基本方針」に基づき、多様化するニーズへの対応や地域の歴史・特性を踏まえた公園・児童遊園の整備を行っています。一方で、大規模改修等による利用者の増加に伴い、児童の安全確保や防犯対策が課題となっていることから、安全・安心な公園づくりを進めています。

令和8年度は、ボールパークの導入に向けた神田橋公園改修工事や子どもの遊び場創出に向けた秋葉原公園改修工事等に取り組むとともに、夏期の酷暑対策として、こどもの池や親水広場を開設している公園への日よけ設置に向けた検討を行います。

また、防犯対策として、AIを活用した異常検知機能付き防犯カメラを新たに錦華公園に設置します。

R9 見込額：155 百万円 R10 見込額：95 百万円

資源回収事業

拡充

▶千代田清掃事務所

707,206千円 (689,665 千円)

区は、循環型社会の推進のため、古紙類やプラスチック全般の回収等の各種資源化事業を展開しています。

令和8年度は、令和7年度に試行実施したプラスチック製衣装ケースの資源化を本格実施に移行し、収集した粗大ごみから選別した衣装ケースの資源化施設への搬入量を増やすことで、粗大ごみの減量と資源化率の向上を図ります。

R9 見込額：707 百万円 R10 見込額：707 百万円

予算額(前年度予算額)

ごみ削減区民アイデアコンテスト

新規

▶千代田清掃事務所

3,676千円 (一 千円)

区は、区民と事業者の協働による廃棄物の適正処理と資源化を推進し、2050 年までにごみ焼却量や最終処分量を限りなくゼロに近づける「2050 ゼロ・ウェイストちよだ」の実現に向けた取組みを進めています。

令和8年度は、区民や区内事業者とともに地域全体でのごみ削減をめざすため、区内のごみ発生抑制や資源循環を促進する実現可能なアイデアを幅広く募集する「ごみ削減区民アイデアコンテスト」を実施します。応募されたアイデアから優秀なアイデアを選定し、表彰を行うとともに、入賞したアイデアについて令和9年度以降の事業化を検討します。

R9 見込額：完了 R10 見込額：完了

ウォーカブルなまちづくりの検討

拡充

▶景観・都市計画課

36,547千円 (53,360 千円)

区は、「千代田区都市計画マスタープラン」で描いた将来像「つながる都心」の実現に向け、令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、歩きやすく居心地の良い「ウォーカブルなまちづくり」を推進しています。

令和8年度は、エリアマネジメント団体への支援制度の構築に向け、令和4年度から令和7年度にかけて「ウォーカブルな活動」として採択され、活動を実施した団体を対象に、エリアマネジメント団体認定及び継続的な取組みに向けた支援を試行実施します。あわせて、QOL (Quality Of Life) のさらなる向上に向けて、公募によるウォーカブルな活動の支援も引き続き実施します。

また、令和7年度に試験的に実施した橋梁のライトアップの効果検証結果を踏まえ、橋梁のライトアップ実施計画を作成し、地域資源である水辺を誰もが快適に楽しめるにぎわいのある空間にするとともに、景観の魅力向上を図ります。

R9 見込額：34 百万円 R10 見込額：175 百万円

地区の計画等の検討**22,932千円 (23,482 千円)**

▶景観・都市計画課、地域まちづくり課

地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成を図ることが大切です。このため、区は必要な調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討、地域との協議・調整を実施しています。

令和8年度は、引き続き再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けた検討に取り組み、令和9年度からの制度運用をめざします。

R9 見込額：28 百万円 R10 見込額：28 百万円

市街地再開発事業の推進**1,055,044千円 (— 千円)**

▶地域まちづくり課

区では、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的とした市街地再開発事業に要する費用の一部を補助すること等により、事業の適切な推進を支援しています。

令和8年度は、飯田橋駅東地区及び富士見二丁目3番地区の市街地再開発事業への補助を行い、安全で快適なまちづくりをめざします。

R9 見込額：2,418 百万円 R10 見込額：3,111 百万円

予算額(前年度予算額)

麹町地域まちづくりの推進	103,150千円	(25,150 千円)
神田地域まちづくりの推進	80,393千円	(136,540 千円)

▶地域まちづくり課

区では、地域主体のまちづくりの取組みについて支援を行うとともに、地区計画制度等を活用し、各地区の特性に応じた総合的なまちづくりを推進しています。

1 飯田橋・富士見地域

飯田橋・富士見地域では、地域のまちづくり協議会において基本構想を策定し、飯田橋駅及び駅周辺の環境整備に向けてまちづくりを推進しています。

令和8年度は、引き続き基本構想の具現化に向けて、飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行うとともに、飯田橋駅東口高架下拡幅整備の調査・設計に着手します。

2 鬼町・番町地域

鬼町・番町地域では、にぎわい創出による地域の魅力向上を図るとともに、住環境と商業の調和をめざしたまちづくりを推進しています。

令和8年度は、日本テレビ通り沿道を含む二番町地区のまちづくりについて、住宅と教育施設や商業施設等が調和・共存したまちづくり方針の策定に向けて、地域との協議・調整を行っていきます。

3 神田駅周辺地域

神田警察通り沿道では、神田警察通り沿道整備推進協議会を設置し、地域の将来像を描き、その実現に向けた取組みを進めています。

令和8年度は、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行うとともに、神田駅周辺で検討されている複数の開発計画の一体的なまちづくりの方向性を示す基本構想の策定支援を行います。

4 神保町地域

神保町地域では、地域特有の環境や資源を守りながら、地域が抱える課題を解決できるように地域まちづくり協議会を設置し、まちの魅力を存続しながら更新していくためのまちづくりの検討に取り組んでいます。

令和8年度は、地域の街並み再生に向けた方策を検討するとともに、駐車場の地域ルール策定に向けた検討を行います。

R9 見込額：128 百万円 R10 見込額：151 百万円

住宅施設管理

拡充 ▶住宅課

437,775千円 (362,032 千円)

区営住宅及び区民住宅では、入居者の高齢化に伴う退去による空室が増加し、次の入居者を募集する前に実施する改修の対応が追いつかない状況が続いている。公共住宅を必要とする区民等のために、迅速な改修に取り組む必要があります。

令和8年度は、既存空室の改修と新たに発生した空室の改修について、業務の分担体制の構築を進めることで、改修スピードの向上を図ります。

R9 見込額：452 百万円 R10 見込額：402 百万円

居住安定支援家賃助成

拡充 ▶住宅課

9,387千円 (8,827 千円)

区は、高齢者世帯や障害者世帯、ひとり親世帯が取り壊し等により転居を余儀なくされた場合など、やむを得ない事由により区内での居住継続が困難となった世帯に対して家賃等の助成を行い、円滑な転居や区内における居住の安定を支援しています。

令和8年度は、賃貸住宅の家賃高騰を踏まえ、家賃助成額の上限を月額5万円から5万7千円に、火災保険料助成額の上限を7,500円から1万円に引き上げ、支援の充実を図ります。

R9 見込額：11 百万円 R10 見込額：11 百万円

予算額(前年度予算額)

次世代育成住宅助成

127,734千円 (125,224 千円)

拡充

▶住宅課

区は、親元近居のために住み替えを行う子育て世帯や新婚世帯、子どもの誕生・成長に伴い区内転居する子育て世帯に対して家賃や転居費用の助成を行い、世代間共助等のライフスタイルを支援しています。

令和8年度は、賃貸住宅の家賃や分譲マンション価格の高騰を踏まえ、家賃助成の助成額を1割以上引き上げるとともに、住み替え先の住戸の専有面積に関する助成要件を緩和し、子育て世帯等の経済的負担を軽減します。

R9 見込額：- R10 見込額：-

永田町駅地下鉄連絡出入口整備（基本設計） 52,369千円 (- 千円)

新規

▶住宅課

永田町駅4番出口は、混雑による危険性や、バリアフリー化されていないといった問題が指摘されており、麹町仮住宅内に地下鉄連絡通路出入口の設置が要望されたことから、区はこれまで、バリアフリールートの確保に向けて鉄道事業者と協議を進めてきました。

令和8年度は、引き続き設置に向けた協議を進めていくとともに、基本設計を行います。

R9 見込額：- R10 見込額：-

区民ニーズに応じたすまいの供給**新規****▶住宅課****42,540千円 (一 千円)**

区は、多様な世帯が安心して住み続けられる環境を整備するため、空き家の増加や家賃の高騰等をはじめとした、区内の住環境の現状を把握し、既存ストック等を活用した住環境改善に取り組んでいく必要があります。

令和8年度は、区内における空き家の実態調査を実施するとともに、空き家を活用したアフォーダブル住宅※の供給を支援します。また、事務所ビル等についても、旧住宅転用制度の活用やモデル事業を実施することで、アフォーダブル住宅の供給を進めます。

※アフォーダブル住宅：手頃な価格で住むことができる住宅

R9 見込額：- R10 見込額：-

(仮称) 四番町公共施設住宅の開設**新規****▶住宅課****2,520千円 (一 千円)**

四番町保育園・児童館等施設は、四番町図書館、住宅等も含めた一体的な施設として、令和8年度の竣工に向けて、新築工事を進めています。

令和8年度は、令和9年度の開設を見据えて、区営住宅の募集から入居に向けた準備を進めます。

R9 見込額：42 百万円 R10 見込額：完了

電線類地中化の推進**198,000千円** (148,172 千円)

▶道路公園課

区は、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与するため、電線類の地中化に取り組んでいます。

令和8年度は、引き続き「多町大通り南周辺地区」の工事と「二七通り西地区」の設計を実施するとともに、新たに「清洲橋通り（靖国通り以北）」の整備に向けた調査・検討に着手します。

また、電線類地中化の整備をより一層効果的・効率的に進めるため、無電柱化推進計画を策定します。

R9 見込額：229 百万円 R10 見込額：110 百万円

歩道のバリアフリー化**401,000千円** (185,500 千円)

▶道路公園課

区は、交通事故の防止を図るとともに、歩行者や車椅子利用者などが安心して利用できる歩行空間を確保するため、歩道のセミフラット化や拡幅整備に取り組んでいます。

令和8年度は、引き続き「五十通り」の工事を実施するとともに、「清洲橋通り（靖国通り以南）」の工事に着手します。

R9 見込額：373 百万円 R10 見込額：195 百万円

自転車通行環境整備**777,100千円** (324,500 千円)

▶道路公園課

近年、健康や環境、災害対策などへの意識の高まりにより、自転車利用のニーズが高まっています。一方で、交通安全上の問題も増加していることから、区は、自転車の安全な走行環境の整備を進めています。

令和8年度は、神田警察通りにおいて、引き続きⅡ期区間の工事を実施するとともに、次期以降の区間の工事に着手します。

また、「千代田区自転車ネットワーク計画」で選定された路線について、自転車専用通行帯や自転車ナビマーク・ナビラインの整備に向けた設計に着手し、自転車ネットワーク路線の整備を推進します。

R9 見込額：819 百万円 R10 見込額：756 百万円

道路交流空間の整備**新規**

▶道路公園課

21,000千円 (一 千円)

区では、「誰もが歩きたくなる歩道」をコンセプトに、道路空間の快適性向上に向けた取組みについて、検討を進めています。

令和8年度は、令和7年度に調査・検討した結果を踏まえ、歩道の段差解消による通行の安全性・快適性の向上、ベンチ等の設置による滞留空間の創出、グリーンインフラ整備や舗装修景による景観・環境の改善等の整備効果を検証します。これらの結果を踏まえ、道路交流空間の整備やバリアフリーの観点を道路整備方針に反映させ、誰もが歩きたくなる歩道づくりを推進します。

R9 見込額：50 百万円 R10 見込額：45 百万円

建物の耐震化等促進事業**拡充**

▶建築指導課

635,809千円 (581,373 千円)

区は、「千代田区耐震改修促進計画」に基づき、マンションや木造住宅、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化等を促進し、大地震等の被害から区民の生命・財産を守り、地震に強く安全で安心なまちづくりをめざすための取組みを進めています。

令和8年度は、木造住宅の耐震化促進助成のうち、耐震改修に要する費用の助成額を 120 万円から 150 万円、除却に要する費用の助成額を 80 万円から 100 万円に引き上げるとともに、助成対象の耐震基準を 2000 年の木造耐震基準まで拡大し、木造住宅における耐震化に向けた取組みを一層促進します。

R9 見込額：636 百万円 R10 見込額：636 百万円

橋梁の整備**1,197,230 千円 (1,261,363 千円)**

▶道路公園課

区が管理する橋梁は、大正から昭和初期までに架けられたものが多くあり、「千代田区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から5年に1回点検のうえ、傷んだ箇所の補修や大きな地震に備えて壊れにくい丈夫な橋とするための補強、橋の劣化を防ぐための塗装塗替等を行っています。

令和8年度は、「雉子橋」「南堀留橋」に加え、新たに「三崎橋」「宝田橋」の補修等工事に取り組むとともに、「隼町無名橋」の設計と「常盤橋」の耐震調査を行います。

また、令和7年度に実施した橋梁点検調査結果を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを実施します。

■令和8年度実施内容

工事（補修補強）：雉子橋

工事（塗装塗替等）：南堀留橋

工事（補修・塗装塗替）：三崎橋、宝田橋

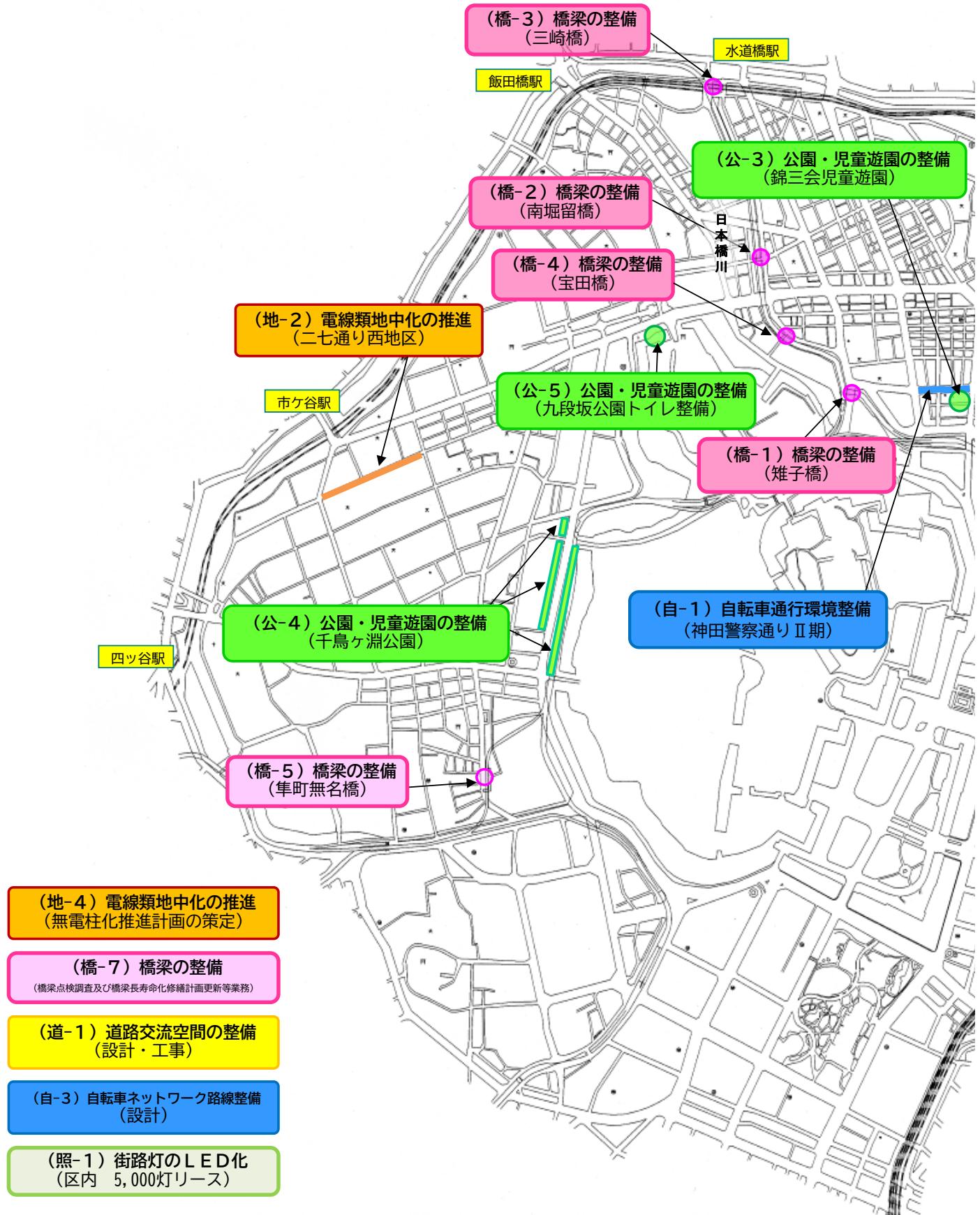
設計（塗装塗替等）：隼町無名橋

耐震調査：常盤橋

R9 見込額：1,333 百万円 R10 見込額：1,134 百万円

令和8年度 主な整備予定箇所

環境まちづくり部 道路公園課





令和8年度 主な整備予定箇所一覧表	
★歩行空間のバリアフリー化 «電線類地中化の推進»	
地-1	電線共同溝整備
地-2	電線共同溝整備(設計)
地-3	電線共同溝整備(調査・検討)
地-4	無電柱化推進計画の策定
★歩行空間のバリアフリー化 «歩道のバリアフリー化»	
歩-1	歩道拡幅工事
歩-2	歩道拡幅工事
★道路交流空間の整備	
道-1	道路交流空間整備(設計・工事)
★橋梁の整備	
橋-1	補修補強工事
橋-2	塗装塗替等工事
橋-3	補修・塗装塗替等工事
橋-4	補修・塗装塗替等工事
橋-5	塗装塗替等工事(設計)
橋-6	耐震調査
橋-7	橋梁点検及び長寿命化修繕計画更新等業務(計画更新)
★自転車通行環境整備	
自-1	自転車通行環境整備工事
自-2	自転車通行環境整備工事
自-3	自転車ネットワーク路線整備(設計)
★街路灯のLED化	
照-1	街路灯のLED化(リース)
★公園・児童遊園の整備	
公-1	公園整備
公-2	公園整備(設計・工事)
公-3	公園整備(設計・工事)
公-4	公園整備(基本設計)
公-5	九段坂公園トイレ整備(設計・工事)